

小形熱画像センサ TP-L0260EN 提案例 電子部品の異常発熱検知

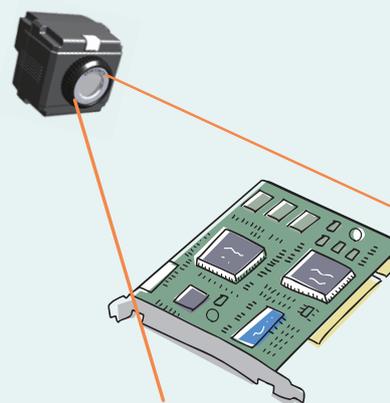
■ 提案内容

基板、回路の動作不良でお困りではありませんか？
TP-Lが異常発熱部を見つけ、原因究明の手助けを致します

回路動作不良の原因究明方法として、異常発熱部を見つけ「あたり」を付けることが解決の早道です。
安価な熱画像機器であれば設備への導入も検討が可能です。

TP-Lを利用し、基板全体の温度分布を捉えることにより、異常発熱箇所の確認、初期解析の時間短縮が可能です。

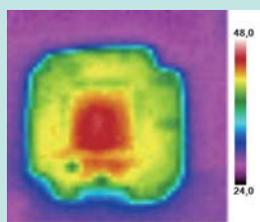
さらに、小形・安価・位置決めも簡単（点でなく面で測定）で装置への組込み、FAセンサとしての利用もできます。



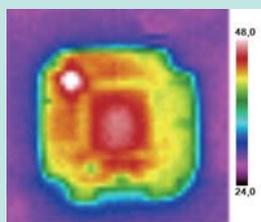
■ 使用方法

基板全体の温度を捉え、異常発熱箇所を目視または自動判定（PLCとの連携：キャプチャモード）が可能です。
PC内に画像（jpg）や温度データ（csv）を連続収録でき、検査基準作成や発熱状態の変化監視に有効です。

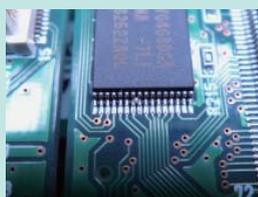
目視で判別



▲ 正常な基板

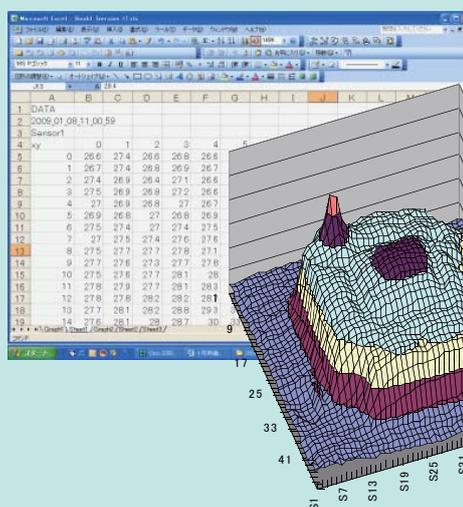


▲ 異常な基板



▲原因：ハンダボールによるピン間ショート

データ解析



注：異常状態の自動判定はセンサ本体内部警報設定、アプリソフト内部警報設定、又は任意でのプログラム構築が必要です